

議事録

第3回工業塗装高度化協議会（仮称）開催

日時：2007年10月11日（金） 午後3時30分から5時30分まで

場所：岡田塗装所 会議室

出席者：日本工業塗装協同組合連合会（岡田勇司副会長、林正明理事、神田敏弘事務局長、
窪井氏＝久保井塗装工業所、早川氏・石川氏＝第一塗装工業、小泉氏欠席＝小泉
塗装工業所）

日本塗装機械工業会（菅原一雄副会長、平野克己専務理事、島田氏＝旭サナック、
斎藤氏＝ランズバーグ・インダストリー、鈴木氏欠席＝アネスト岩田）

アドバイザー：坂井秀也氏（日本工業塗装協同組合連合会技術顧問）

事務局：塗料報知新聞社（有馬弘純）

【討議決定事項】

第1回分科会を開催。両団体のこれまでのVOC削減等に向けた活動を発表（吸着モニター、導入塗装ガンのデータ収集、排出量調査協力／シンポジウム開催、ホームページ情報掲載、出版）した後、分科会メンバーの討議により今後の活動テーマを設定した。

メンバーは、日本工塗連は関東ブロック（東京・神奈川・埼玉）から、またCEMAは技術部会から選ばれた。

①分科会名称

・「環境技術分科会」→案件に応じ、「WG」（ワーキンググループ）を設ける。

②組織体制

・分科会正副会長の選定は、12月に開催される会長懇談会における正副会長決定を受けて、両団体が“たすき”となる形で就任する。

③活動テーマ

・「塗着効率の向上」（2010年VOC30%削減へ向けた活動とリンクさせる） 例えば…
▽アミ、フェンス等の標準形状について、一定条件のもと、各塗装機器を用いた際に何%VOCを削減できるかを測定する。現物でデータをとることにより、業界としての基準となる削減率を公表する。

▽塗装機器面からの情報提供を受け、塗装テクニク・技能の向上を図る。さらに全国の地区単位で教育・トレーニングを実施する。

▽塗料材料費の削減につなげる。

▽工業塗装業界が今後あり続けるために、関連団体等との連携など機動力を発揮し、生き残りをかける。

④スケジュール

・分科会各メンバーは、上記活動テーマ「塗着効率の向上」における実施具体案や所感などを10月15日（月）までに事務局へ提出する。

・事務局から上記収集シートが分科会メンバーに返信された後、10月29日（月）までに、次回分科会開催日を決定の上（窪井氏、島田氏に依頼）、事務局へ連絡する。

・分科会の活動成果の期限を2009年9月に定める。

・その後、2011年3月まで活動成果の普及・啓発活動を実施する。

⑥会長懇談会開催日

・2007年12月12日（水）or13日（木） 午後4時or5時～ 場所は後日決定

・議題は、会の名称決定、正副会長決定、環境技術分科会進捗状況報告、「明日の工業塗装」について討議。

・その後、懇親会を開催する。

・なお、分科会の開催日程が一致した際には、合同懇親会を行う。

文責：有馬弘純（事務局）